

# がんばり！！

赤十字奉仕団情報誌 No. 18

平成 21 年度号



日本赤十字社

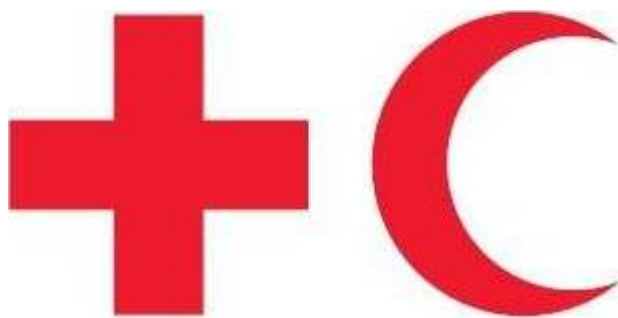
Japanese Red Cross Society

新潟県支部

# 目次

- P.1 目次
- P.2 新潟県支部主催研修会 開催報告  
①赤十字ボランティア基礎研修会  
②赤十字ボランティア・リーダーシップ研修会
- P.4 防災訓練へ参加  
①新潟県総合防災訓練  
②長岡市山古志地区防災訓練  
③山古志総合防災訓練
- P.6 講習普及事業より  
救急の日 2009
- P.7 特集 「トキめき新潟国体・トキめき新潟大会」

編集者あとがき



# 新潟県支部主催研修会報告

## ①赤十字ボランティア基礎研修会

6月から7月の約1か月間かけて、県内4地域を会場に基礎研修会を開催しました。この研修会は、赤十字奉仕団に加入して間もない人を対象に、“赤十字とはどんな団体なのか” “ボランティアって何をしたらいいのか” など、基本的な項目を学ぶために開催しています。全部で130名近い方に参加いただき、赤十字や奉仕団について学んでいただきました。



- ・赤十字って何だろう？奉仕団って何？
- ・災害救護活動を知ってみよう

午前中は赤十字について学ぶ時間です。赤十字は民間の救護団体であること、そしてその活動を支えているのはボランティアであることなどを学びました。



- ・赤十字クイズ
- ・身近なものを使った応急手当
- ・グループワーク「赤十字マークを作ろう」

午後は午前に学んだ内容のクイズをしてからスタート。日用品を使った応急手当の方法を学び、グループでの作業などを行いました。



## ②赤十字ボランティア・リーダーシップ研修会

昨年10月末に上越市を会場にリーダーシップ研修会を開催しました。  
 毎年1回開催し、今年は県内全域から40名を超える奉仕団員に参加いただきました。  
 赤十字奉仕団のリーダーとして、よいグループ運営とはどういったものなのか等をグループワークを通して学んでいただきました。



- ・グループワーク「理想の奉仕団を作ってみよう」
- ・救急法 グループ寸劇

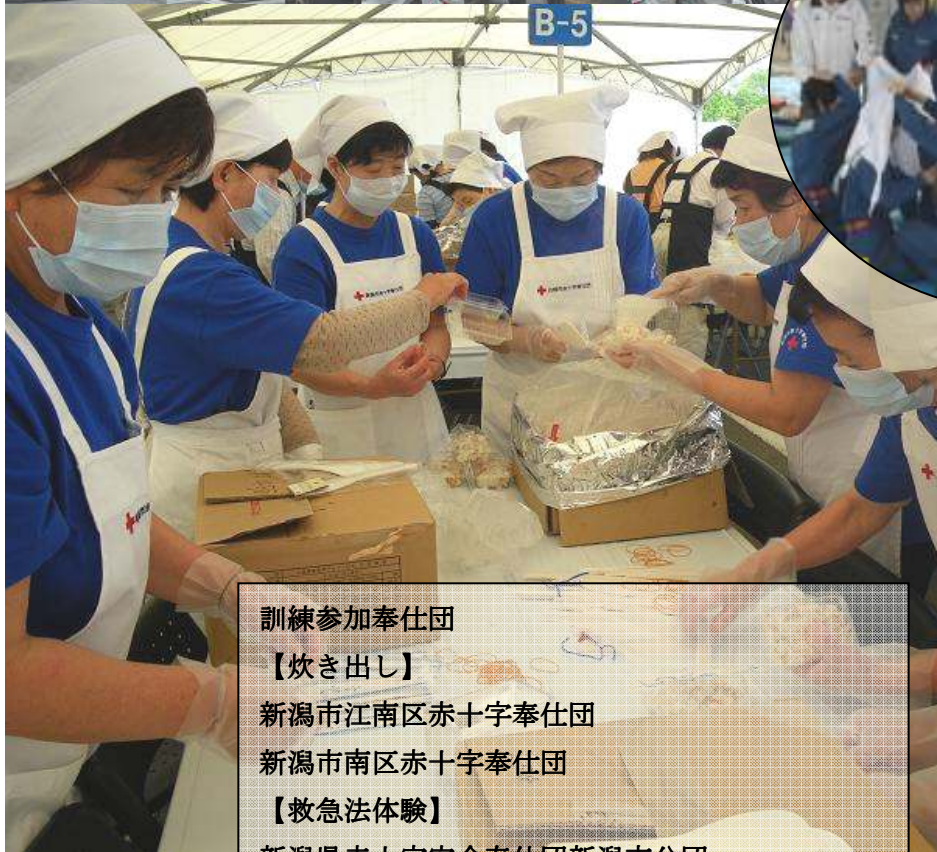
研修会は殆どグループで行う形式で行い、救急法では学んだ内容を寸劇にして発表し、大きな盛り上がりを見せていました。  
 グループワークでは理想の奉仕団について話し合い、一つの活動計画を策定していただきました。



## 防災訓練への参加

### ①新潟県総合防災訓練

新潟市で開催された新潟県総合防災訓練に市内の奉仕団が参加しました。



訓練参加奉仕団

【炊き出し】

新潟市江南区赤十字奉仕団

新潟市南区赤十字奉仕団

【救急法体験】

新潟県赤十字安全奉仕団新潟市分団

【通信訓練】

新潟アマチュア無線赤十字奉仕団

## ②長岡市山古志防災訓練



中越大震災から5年を迎えた長岡市山古志地区で防災訓練が開催され、長岡赤十字病院の救護班、長岡市赤十字奉仕団による炊き出しが行われました。



## ③小千谷市総合防災訓練



同じく中越大震災で大きな被害を受けた小千谷市でも訓練が開催され、小千谷市赤十字奉仕団が炊き出しを行いました。

## 講習普及事業より

# 救急の日 2009



救急の日に合わせ、9月6日に「救急の日 2009」【新潟市消防局主催】をイオン新潟南ショッピングセンターを会場に行い、多くの方々に AED の使い方を体験していただきました。また、来場されたお子さんには、子ども用の救護服や消防服を着用しての記念撮影を行いました。



協力いただいた奉仕団

【AED 体験】

新潟県赤十字安全奉仕団新潟市分団

【写真撮影】

新潟青年赤十字奉仕団

長岡赤十字看護専門学校青年赤十字奉仕団



開会式では、演技をしていた50代の女性が突然倒れ、心肺停止所状態となりましたが、救護班が直ちに心肺蘇生法を施し、一命をとりとめました。  
安全奉仕団新潟市分団員もAEDの手配や搬送等に協力していただきました。



## 特集「トキめき新潟国体・トキめき新潟大会」

新潟県で46年ぶりとなる国民体育大会及び障がい者大会が開催され、新潟県支部、長岡赤十字病院、奉仕団が協力して運営のサポートにあたりました。



障がい者大会開会式では安全奉仕団加茂市分団の協力のもと、赤十字ブースを出展し、来場者にAEDの使い方を体験していただきました。  
また、競技会場では各地の奉仕団が救護ボランティアや赤十字のPRなど様々な活動を行い、大会運営に多くのボランティアが活躍しました。



# 編集者あとかき

平成 21 年度も残すところあとわずかとなりました。奉仕団の皆様には赤十字事業に多大なご支援をいただき、ありがとうございます。

今年度は「トキめき新潟国体」「トキめき新潟大会」が開催され、日赤新潟県支部の救護活動やブース出展などに、多くの奉仕団に協力いただきました。

また、各地の会場でも大会運営などに多くのボランティアが参加したことと思います。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

この一年は日本赤十字社の近衛社長が国際赤十字・赤新月社連盟の会長に就任し、日本赤十字社にとっても大きな転機となった年でした。2010 年 1 月に発生したハイチ大地震ではハイチ赤十字社のボランティアだけでなく、世界各国の赤十字ボランティアが被災者支援の活動に従事しています。まさに赤十字がボランティア組織であることを示したのではないのでしょうか。

同様に日本赤十字社の活動も奉仕団の皆様によって支えられています。私たち新潟県支部職員も人道の実現に全力を注いでまいります。奉仕団の皆様にもさらなるご支援をお願いいたします。

日本赤十字社新潟県支部  
事業推進課 早川慎一

**「がんば！！」編集局では皆さんからの情報をお待ちしています。  
紹介したい活動がありましたら、原稿に写真を添えて新潟県支部までお寄せください。  
また、取材へも赴かせていただきますので、ご連絡お待ちしております。**

奉仕団情報誌「がんば」No. 18

平成 22 年 2 月 9 日 発行

発行所 日本赤十字社新潟県支部 事業推進課  
〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町 1-3-12  
Tel. 025-231-3121 Fax. 025-231-3122  
Mail. s-hayakawa@niigata.jrc.or.jp